

晩秋の週末11月21日(土)、京都市及び長岡京市において、関西慶應寮和会第8回定例懇談会が、初めての出席の高村OB、三枝OB、岩田OB、吉武OB、河野OBを始めとして、27名の出席者のもと開催されました。

＜参加者＞敬称略 (27名：部分参加も含む)

白石 英也 (S32経)	山本 恒徳 (S38経)	高村 健二 (S40経)
増田 登 (S40商)	三枝 一雄 (S40経)	由良 豊一 (S40商)
相本 琢郎 (S41法)	酒井 克己 (S42法)	飛鳥 久範 (S43経)
岩田 茂樹 (S43法)	河野 静夫 (S44商)	吉武 惇二 (S44商)
中矢 隆雄 (S47政)	松尾 哲雄 (S47経)	三角 竜二 (S49工)
鎌田 誠 (S51法)	青嶋 義晴 (S52工)	袖岡 稔 (S55商)
阪本 光宏 (S61商)	竹崎 誉 (H02法)	豊田 秀明 (H03理)
淨住 徹朗 (H05経)	兵藤 公治 (H10理)	脇田 圭吾 (H12総)
宮崎 博 (H16経)	原 宗一郎 (H24総)	松永 修 (S58工)

I 【第1部】 平成27年度 関西慶應寮和会総会(24名)

13:00～13:45

京都駅前ビル1階会議室において、物故者黙祷(故 上田尚弘OB:S38法卒)の後に、青嶋義晴幹事(事業担当)の司会で総会が開催され、塾歌斉唱・会長挨拶に続き、寮和会本部から列席頂いた吉武会長からご挨拶を頂きました(写真1、2)。

次に松永広報担当から、第Ⅱ期(自平成26年1月1日 至平成27年12月31日)事業について報告がありました。

続いて、阪本光宏会計担当から、第Ⅱ期会計ならびに第Ⅲ期(自平成28年1月1日 至平成29年12月31日)役員改選について提案があり、いずれも承認可決されました。

＜報告事項＞

・第Ⅱ期事業報告

上記期間における事業活動(平成26・27年度総会、第5回～第8回定例懇談会)についての報告に加え、関西慶應寮和会の発足準備から本日までの活動について(テーマ名：関西慶應寮和会3年間の歩み)報告がありました。



写真1. 青嶋幹事の司会で開会



写真2. 由良会長からご挨拶

<決議事項>

・第Ⅱ期会計報告

上記期間における収支計算書により会計報告があり、全会一致で承認されました。

・第Ⅲ期役員改選

第Ⅱ期役員の任期が平成27年12月31日に満了するのにもない、第Ⅲ期役員候補者の提案があり、異議なく、承認可決されました。

選出された役員4名は、以下のとおりです。

会 長	松 尾 哲 雄(昭和47年経卒)<新任>
会長補佐	三 角 竜 二(昭和49年工卒)<新任>
会 計	阪 本 光 宏(昭和61年商卒)<再任>
会計監査	西 村 元 秀(昭和53年商卒)<新任>

最後に、新たに会長に就任する松尾OB からご挨拶を頂きました。

I 【第2部】 長岡京散策(27名) 15:00~17:00

・サントリー京都ビール工場(ザ・プレミアム・モルツ)

定例懇談会が終わり、皆で電車で向かったのが、JR長岡京駅。駅前から、サントリー京都ビール工場に送迎バスで向かいました。

工場に到着し最初に行ったのが、工場見学です。案内嬢の説明によると、長岡京はビールの醸造に適した「天然水」の水脈に恵まれているそうで、一般見学コース順に従い、原料コーナー、醸造プロセス(仕込み、発酵、貯酒、ろ過)、缶詰コーナーを、見学することが出来ました。

次は、お楽しみのビール試飲会。出来立て鮮度抜群のビールを、大変おいしく楽しめました。(写真3) 最後に、広い敷地の中で、ビール工場をバックに全員で記念写真に収まりました。(写真4)

次に、恵解山(いげのやま)古墳公園→勝竜城公園→神足神社の順に長岡京を巡りました。(写真5)

最初に訪れた恵解山古墳公園は、古墳時代中期(今から約1600年前)に造られた前方後円墳で、乙訓地域最大の規模を有しています。



写真3. ビール試飲会場で懇談



写真4. サントリー京都ビール工場にて(一、二のサントリー！！)

古墳に葬られた人物の名前は記録に残っていませんが、乙訓地域の全域を支配した実力者の墓と考えられています。現在は明るいイメージの公園を、全員で散策しました。(写真6)

次に、勝竜城内の説明ブースを見学しました。パンフレットによると、勝竜城は暦応2年(1339)、足利尊氏の命により細川頼春によって築城。天正6年(1578)、明智光秀の娘、玉(後のガラシャ夫人)が、細川忠興に嫁ぎ、2年間、この城で幸福な新婚時代を過ごしましたことで有名だとのことでした。最後に、夕闇迫る中、神足神社に参詣しました。

I 【第3部】懇親会(25名) 17:30~19:30

JR長岡京駅前北の商談亭「てっぼう」にて、阪本事務局長の名進行役で、会長挨拶・会計監査乾杯と両役員最後のお役目があり、初参加者5名の充実したスピーチもあり、アツという間に 岩田・豊田両OBによる <若き血>の熱唱となりました。

最後に 増田会長補佐よりダブル挨拶がありました。一つは <由良体制>に花を添え、本番に参加いただいた同時期に在寮生活を共有した 山本・高村・三枝・相本・酒井・岩田・飛鳥OBに名前を挙げての丁寧な謝意であり、その趣旨は3年半前に sail-outした由良丸がこの日由良号としてtake-offした内容でもありました。

もう一つは 時世を絡めての 落ちのある 締めという言葉でした。テーマは テロ・パリ・ロマンでした。

- ① 会長室の囁き賞は(元警察官僚)佐々淳行著
(私を通り過ぎた政治家たち・マドンナたち！)
- ② 元タカラジェンヌ(我がマドンナ・愛称ショ〜コ)の退団の言葉
(今までよりこれから！)
- ③ 一味違うシナリオになかった自身によるアカペラでのシャンソン
(すべての感謝として！)

そうそう 落ちは？「テロ」⇒「てっぼう」締めでした。(写真7)



勝竜城公園



恵解山古墳公園



神足神社

写真5. 長岡京散策ルート



写真6. 恵解山古墳公園散策

II OFF-TIME

シリーズしんがりは、幹事一番の若手、宮崎OBです。
趣味はたくさん持っているとのことですが、その中の＜献血＞について話して下さいました。

血液型はAB型。大学時代、大学に献血バスが来て、AB型が足りませんと書いてあれば率先して400mlの献血をしてきたほどの入れ込みよう。ご存じの通り、一度献血すると次は3ヶ月間献血できませんが、年間に2～3回は協力してきました。

2006年からは「献血カード」が導入されましたが、献血可能日に献血ルームに行くようになり、そこで＜成分献血＞を知りました。
＜成分献血＞というのは一旦血液を採取し、必要な成分を回収した後、残りの血液を体内に返血するもので、機械と時間が必要ですが、体への負担は少なく、献血可能日は2週間後と通常の献血と比べて短いです。その＜成分献血＞を行っているので、献血回数は飛躍的に伸びました。現在献血回数は97回で、1月には100回になる予定です。(写真8)中には、なんと1000回も献血した人もおられるそうです。

フランチャイズの「献血ルーム」は献血ルーム京都：四条ですが、大阪府内の献血ルーム12ヶ所全てで献血したことがあります。また、今年11月に姫路であった関西合同三田会に参加した際にも、同地のルームで献血したので、兵庫県もあと一ヶ所で周り終えます。

献血すると自分の血液のデータが送られてきますが、集めたデータは自分の健康状態を知るバロメータにもなります。血圧が少しずつ上昇していることや、コレステロールが高いことを知り、仕事帰りに揚げ物を食べるのを止めるなど、健康管理にも活かしています。

献血の上限となる年齢まで健康に過ごし、献血(少なくとも200回が目標)に行くことで、どこかの誰かが助かり、同時に自分自身の健康のチェックも出来るので、一石二鳥のメリットがありますね。

と、笑顔で締めくくられました。



写真7. 懇親会にて(皆さん笑顔！！)



写真8. 97回に及ぶ宮崎OBの献血手帳

Ⅲ 編集後記

関西慶應寮和会の発足から現在まで、役員としてご尽力いただいた由良OB、増田OB、相本OB が退任されますが、長い間有難うございました。今後も、暖かく見守って頂くようよろしくお願いします。

また、今回の総会で、私としても、第Ⅱ期までの3年間の活動報告（関西慶應寮和会3年間の歩み）をまとめる事が出来、一区切りついたという思いです。

定例懇談会でも、サントリー京都ビール工場見学と長岡京散策により、晩秋の古都を楽しむことが出来て大変楽しかったです。第3回の伏見酒蔵見学から引き続き、寮生時代親しんだお酒の製造現場を見学したことで、これからのお酒の味わい方も変わってくると思います。

宮崎OBの＜献血97回＞には驚くと共に、感心しました。記者も亡き母が以前に大手術をした時に献血にお世話になったお礼として、年に一度くらいは献血に行くのですが、到底そこまでは出来ません。

定例懇談会の次週にも、記者は姫路城に人間将棋（山形県天童市が有名ですが、姫路市でも今年から開催）を観に行き、晩秋の一日を楽しむ事が出来ました。（写真9、10）

これから年末に向け、寒さが厳しくなりますが、皆様もお体に気を付けてください。

今回の第8回定例懇談会で第Ⅱ期が終了し、来年1月からは、松尾新会長のもと新体制で臨むことになりましたが、会員の皆様様の益々のご支援・ご協力を引き続きよろしくお願いします。

以上



写真9. 姫路城(白鷺城)を望む



写真10. 人間将棋(白鷺の陣)